

複数フォルダから検索結果に該当する最新のファイルを取得するサンプルシナリオ

複数フォルダから検索条件に該当した最新ファイルを別フォルダにコピーするサンプルシナリオとなります。

拡張子がxlsxに該当するファイルを1つのフォルダに集める場合などに利用することが可能です。

サンプルシナリオ概要

目次
はじめに
本サンプルシナリオの概要
使用するWinActorモジュール
動作確認環境
本サンプルシナリオの使い方
Step 1. サンプルシナリオの読み込み
Step 2. 動作に必要な変数の設定・変更(任意)
Step 3. 動作に必要な変数の確認
Step 4. サンプルシナリオの実行
Step 5. サンプルシナリオの終了後の確認
トラブルシューティング
サンプルシナリオ解説
1. コピー対象となるファイルパスの取得
2. 検索対象となるフォルダ数の設定
変更履歴

はじめに

複数フォルダから検索条件に該当した最新ファイルを別フォルダにコピーするサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

指定されたフォルダ内から、指定された検索条件と一致するすべてのファイル名とファイルパスを取得します。

対象となるファイルと同名のファイルが複数存在する場合は、更新日時を取得します。

更新日時を比較し、最新の更新日時を検索します。

最新の更新日時を持つファイルを、保存先として指定されたフォルダにコピーします。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

ノード/変数/変数値設定

ノード/変数/カウントアップ

03_変数/02_辞書と配列/辞書操作(初期化).ums6

03_変数/02_辞書と配列/辞書操作(情報取得).ums6

03_変数/02_辞書と配列/辞書操作(情報更新).ums6

03_変数/02_辞書と配列/1次元配列操作(初期化).ums6

03_変数/02_辞書と配列/1次元配列操作(情報取得).ums6

03_変数/02_辞書と配列/1次元配列操作(情報更新).ums6

06_文字列比較/後方一致比較.ums6

07_文字列操作/03_連結/文字列の連結(3つ).ums6

13_ファイル関連/02_ファイル操作/ファイルコピー.ums6

プチライブラリ/03_変数/02_辞書と配列/1次元配列の要素数を取得するライブラリ

プチライブラリ/03_変数/02_辞書と配列/辞書から指定したキーと情報を削除するライブラリ

プチライブラリ/13_ファイル関連/02_ファイル操作/指定したファイルの更新日時を取得するライブラリ

プチライブラリ/13_ファイル関連/04_ファイル一覧/ファイル検索(サブフォルダを含む)

プチライブラリ/13_ファイル関連/05_ファイル名/ファイルパスからフォルダパスとファイル名を取得するライブラリ
(プチライブラリは[こちら \(https://winactor.biz/library/\)](https://winactor.biz/library/)からダウンロードできます)

スイートライブラリ/08_日付関連/2つの日時を比較

(スイートライブラリは[こちら \(https://winactor.biz/sweet/\)](https://winactor.biz/sweet/)からダウンロードできます)

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で動作確認しています。

Windows 10

WinActor 6.3.0、7.1.0

本サンプルシナリオの使い方

本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step 1. サンプルシナリオの読み込み

ダウンロードしたサンプルシナリオのZIPファイルを展開し、展開したフォルダに含まれている本サンプルシナリオをWinActorで読み込みます。

Step 2. 動作に必要な変数の設定・変更(任意)

本サンプルシナリオを実行するために必要な値を、変数一覧で設定・変更します。

以下の変数を必要に応じて設定・変更してください。

ファイル検索条件

ファイル名の検索条件を指定します。

ファイル検索(サブフォルダを含む)ノードの検索条件パラメータと同じ条件指定が可能です。

詳細はファイル検索(サブフォルダを含む)ノードの注釈をご覧ください。

検索対象フォルダ名1

検索対象となる1つ目のフォルダ名を絶対パスまたは、相対パスで指定します。

例) C:¥winactor¥Target

検索対象フォルダ名2

検索対象となる2つ目のフォルダ名を絶対パスまたは、相対パスで指定します。

例) C:¥winactor¥Target

保存先フォルダ

保存先のフォルダ名を絶対パスまたは、相対パスで指定します。

例) C:¥winactor¥Target

変数一覧					
グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値	
変更可能変数	ファイル検索条件		<input type="checkbox"/>		【必須】ファイル名の検索条件
	検索対象フォルダ名1		<input type="checkbox"/>		【必須】検索対象となる1つ目
	検索対象フォルダ名2		<input type="checkbox"/>		【必須】検索対象となる2つ目
	保存先フォルダ		<input type="checkbox"/>		【必須】保存先のフォルダ名を
変更不要変数	ファイルインデックス		<input type="checkbox"/>	1	【変更不要】初期値: 1
	ファイル情報一覧辞書		<input type="checkbox"/>	辞書	【変更不要】初期値: 辞書
	ファイル名一覧配列		<input type="checkbox"/>	配列	【変更不要】初期値: 配列
	配列インデックス		<input type="checkbox"/>	0	【変更不要】初期値: 0
	ループ回数		<input type="checkbox"/>	0	【変更不要】初期値: 0
グループなし					

変数一覧画面1

Step 3. 動作に必要な変数の確認

本サンプルシナリオを正常に実行するために必要な値が、変更されていないことを確認します。

以下の変数が変更されていないことを確認してください。

ファイルインデックス

検索条件に一致するファイルパスの確認を行うために設定されています。

初期値:1

ファイル情報一覧辞書

辞書の作成を行うために設定されています。

初期値:辞書

ファイル名一覧配列

配列の作成を行うために設定されています。

初期値:配列

配列インデックス

ファイル名の確認を行うために設定されています。

初期値:0

ループ回数

対象ファイルのコピーを行うために設定されています。

初期値:0

変数一覧						
グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値		
変更可能変数	ファイル検索条件		<input type="checkbox"/>		【必須】ファイル名の検索条件	
	検索対象フォルダ名1		<input type="checkbox"/>		【必須】検索対象となる1つ目	
	検索対象フォルダ名2		<input type="checkbox"/>		【必須】検索対象となる2つ目	
	保存先フォルダ		<input type="checkbox"/>		【必須】保存先のフォルダ名	
変更不要変数	ファイルインデックス		<input type="checkbox"/>	1	【変更不要】初期値:1	
	ファイル情報一覧辞書		<input type="checkbox"/>	辞書	【変更不要】初期値:辞書	
	ファイル名一覧配列		<input type="checkbox"/>	配列	【変更不要】初期値:配列	
	配列インデックス		<input type="checkbox"/>	0	【変更不要】初期値:0	
	ループ回数		<input type="checkbox"/>	0	【変更不要】初期値:0	

変数一覧画面2

Step 4. サンプルシナリオの実行

WinActorで本サンプルシナリオを実行します。

Step 5. サンプルシナリオの終了後の確認

変数一覧内の**保存先フォルダ**に指定したフォルダ内に、変数一覧内の**ファイル検索条件**で指定した検索条件のファイルがコピーされていることを確認してください。

トラブルシューティング

本サンプルシナリオでは、変数指定が不十分であった場合、エラーメッセージが出力されます。

詳細については、エラーメッセージ一覧 (https://winactor.biz/samplescenario/errmsg_11726.html)を参照してください。

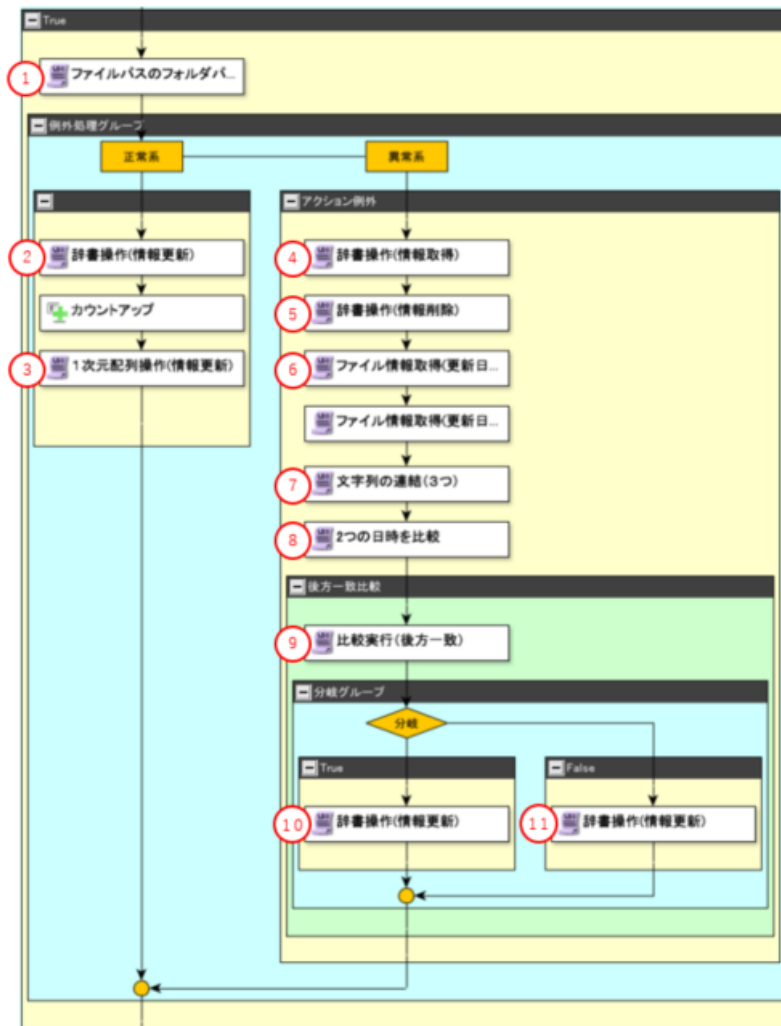
サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて解説します。

1. コピー対象となるファイルパスの取得

本サンプルシナリオでは、ファイル情報取得(更新日時)ノードと2つの日時を比較ノード、辞書系ノードを使用して、検索条件と一致するファイル名のうち、最新の更新日時を持つファイルのパスを取得しています。

1. 変数一覧内の**対象ファイルパス1**に設定されているファイルパスからファイル名を取得します。
2. 辞書にファイル名をキーとして、ファイルパスを情報に登録します。
3. 正常に登録ができれば配列にファイル名を順番に登録し、ファイル名リストを作成します。
4. 既に同一のキーが存在する場合は対象となるキーをもとに辞書から情報を取得し、変数一覧内の**対象ファイルパス2**に設定します。
5. 重複したキーの情報を辞書から削除します。
6. **対象ファイルパス1**に設定されているファイルパスの更新日時と、**対象ファイルパス2**に設定したファイルパスの更新日時を取得します。
7. **対象ファイルパス2**に設定したファイルパスと更新日時を結合して、ファイルパスと更新日時を持つファイル情報を作成します。
8. 2つの更新日時を比較して最新の更新日時を取得します。
9. 作成したファイル情報が持つ更新日時と、取得した最新の更新日時が同一か比較します。
0. 同一である場合は、**対象ファイルパス2**に設定したファイルパスを対象のファイルパスとして、辞書に登録します。
1. 異なる場合は、**対象ファイルパス1**に設定したファイルパスを対象のファイルパスとして、辞書に登録します。



コピー対象のファイルパス取得

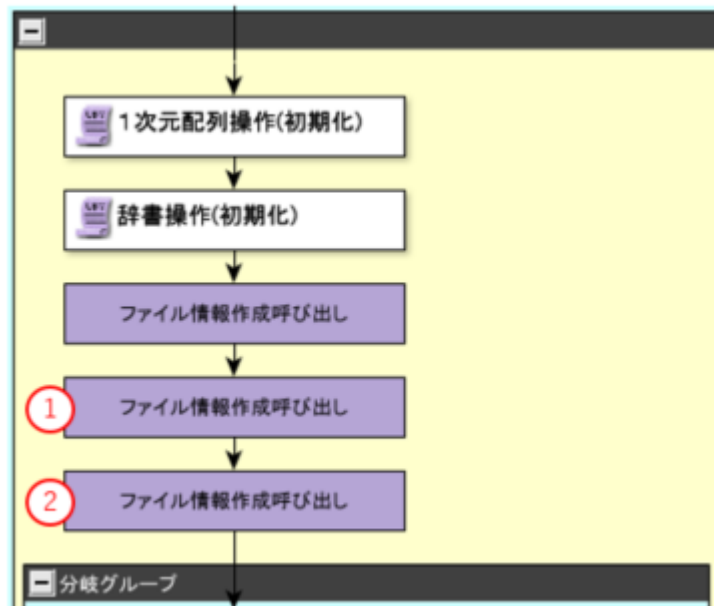
2. 検索対象となるフォルダ数の設定

本サンプルシナリオでは、サブルーチン系ノードを使用することで、検索対象となるフォルダ数を任意に設定することが可能です。

検索対象となるフォルダを増やす場合は、以下の手順で行ってください。

例)検索対象となるフォルダに3つ目を追加

1. サブルーチン呼び出しノードをコピーします。
2. コピー元のサブルーチン呼び出しノードの下にコピーしたサブルーチン呼び出しノードを配置します。
3. コピーしたサブルーチン呼び出しノード内の検索対象フォルダ名1に、引数として3つ目のフォルダを指定している変数を指定します。



検索対象フォルダを追加する手順

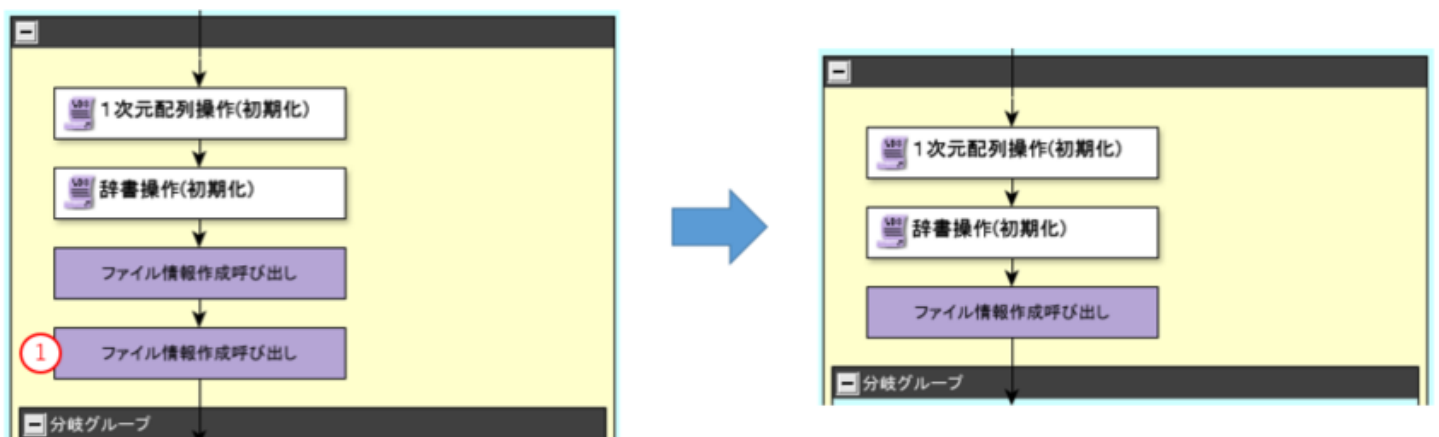
プロパティ - サブルーチン呼び出し	
名前	ファイル情報作成呼び出し
コメント	
サブルーチン名	ファイル情報作成
戻り値	変数名を選択 (省略可)
ファイルインデックス	変数名もしくは値を選: (省略可)
検索対象フォルダ名	検索対象フォルダ名3 (省略可)
<div>OK</div> <div>キャンセル</div>	

サブルーチン追加後の引数設定

検索対象となるフォルダを減らす場合は、以下の手順で行ってください。

例) 検索対象となるフォルダの2つ目を削除

1. 2つ目のサブルーチン呼び出しノードを削除します。



検索対象フォルダを減らす手順

変更履歴

版数
1.0版
日付
2020/10/15
修正内容
初版

版数
1.1版
日付
2024/1/15
修正内容
・注意事項を削除 ・ファイル名を「SS2010_11726_GetlatestMultipleFilesFromMultipleFolders_1.0.1.zip」に変更